

# Triage camera

The camera to attach information of the disabled to a triage tag  
トリアージタグに傷病者の情報を添付するためのカメラ

## 現状の課題と問題点

現在のトリアージタグは情報量が少なく、優先搬送・治療のための情報しか有していない。しかし、実際の医療現場における課題としてタグを着けた時から搬送され治療を受けるまでに傷病が悪化する可能性がある。他にも、搬送先での医療機関では現地の状況や傷病者の怪我した直後の状況などの情報を持ち合わせていないため正確な診断が難しく、適切な治療を行えない場合がある。これらは、現在のトリアージタグでは選別するだけの機能しか持ち合わせていないことから生じる問題である。災害後の初診という重要な診断情報を30秒の間に出来る限り情報を付加することで、トリアージはこれまで以上に効果ある、より良いシステムになると考えた。

## 救急救命士や救助隊員のためのカメラ

Triage cameraはトリアージタグと連携して、傷病者の状態、災害地の状況と初診の情報を画像データや音声データで保存し、より高密度の情報を搬送先の医療機関等の医療で活用するためのカメラである。液晶はタッチパネルになっており内蔵されたペンタブレットにより、傷口の状態や病態に関する情報を書き込んでいく。また、マイクが内蔵されているために状態の詳細を音声データとしても保存できる。これが無線ネットワークでトリアージタグに該当するIDのネットワークストレージへと保存される。トリアージタグには個別識別するためのRFID(ICチップ等)を仕込み、カメラ本体のRFIDリーダーでタグのRFIDを読み取りこれに情報を付加させる。これにより、搬送先の医療機関や搬送中でタグを読み取り初期の傷病者の状態や災害地等の状況を確認することが可能になる。この情報を活用することで正確な診断の精度が上がり適切な治療が行うことができる。

トリアージ・タグ			
No.	氏名 (Name)	年齢 (Age)	性別 (Sex) 男 (M) 女 (F)
住所 (Address)		電話 (Phone)	
トリアージ実施月日・時刻 月 日 AM 時 分 PM		トリアージ実施者氏名	
搬送機関名	収容医療機関名		
トリアージ実施場所	トリアージ区分 0 I II III		
トリアージ実施機関	医 師 救急救命士 そ の 他		
診断・処置内容			
特記事項			

  

0
I
II
III

## トリアージとは

災害時医療で最も重要な3つの要素(3T) トリアージ (Triage)、治療 (Treatment)、搬送 (Transport) の一つであるトリアージとは、人材・資源の制約の著しい災害医療において、最善の救命効果を得るために、多数の傷病者を重症度と緊急性によって分別し、治療の優先度を決定することである。語源はフランス語の「triage (選別)」から来ている。災害及び救急時における医療トリアージの際に用いられるタグがトリアージタグという。トリアージは緊急性が伴うため30秒間で行われる。

赤：最優先治療群（重症群）  
黄：非緊急治療群（中等症群）  
緑：軽処置群（軽症群）  
黒：不処置群（死亡群）

